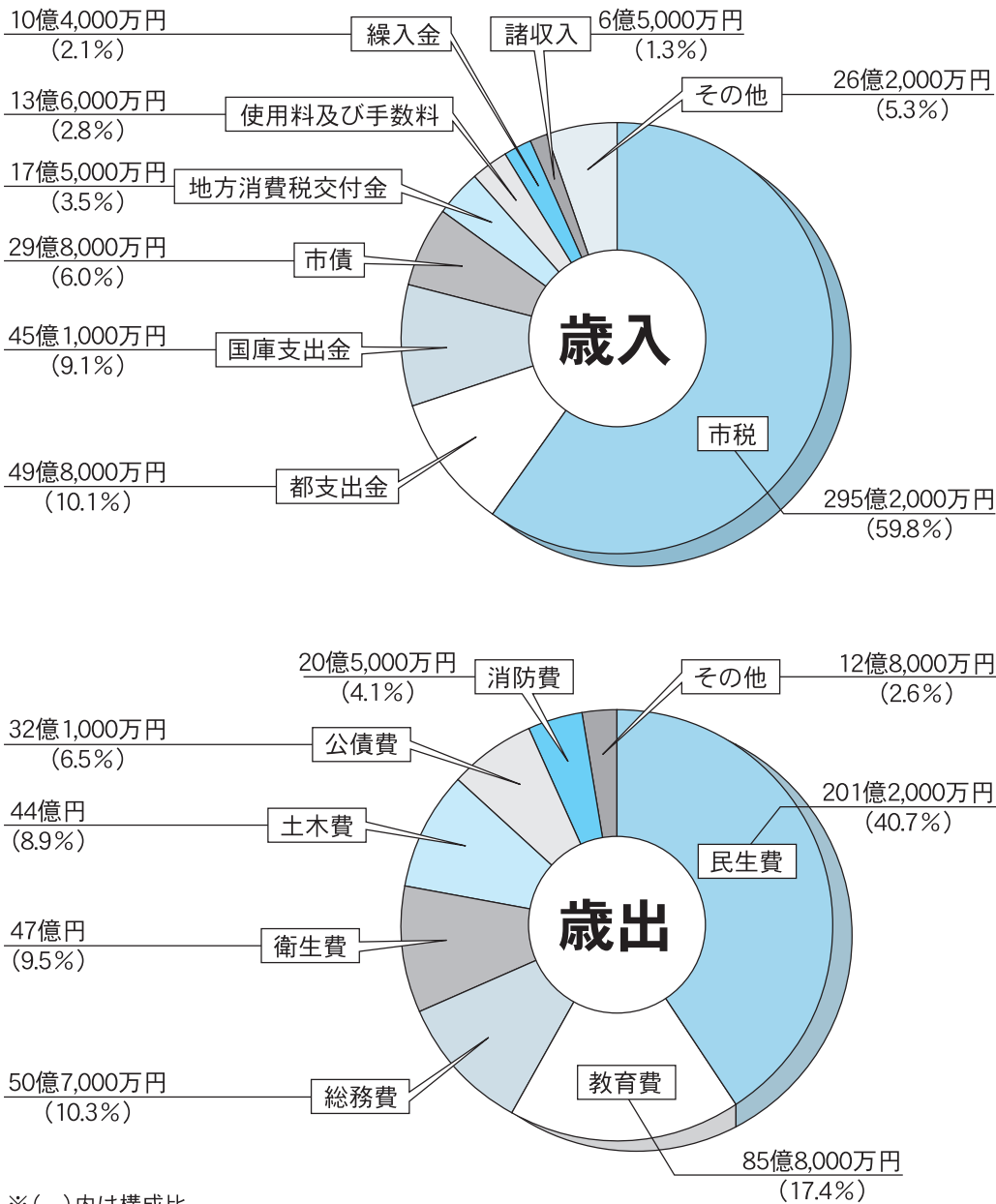


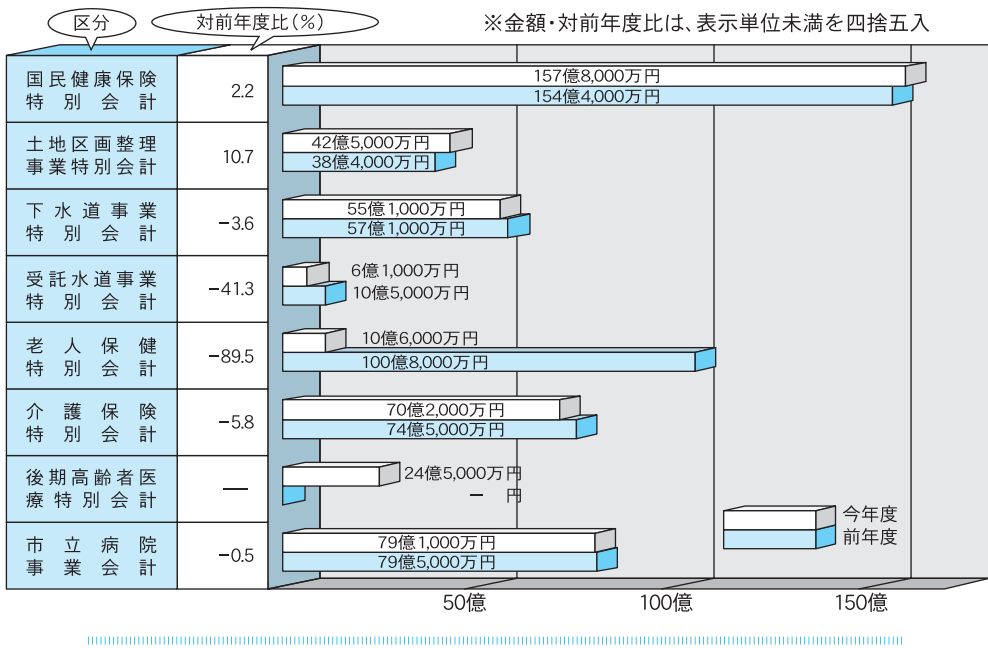
平成20年度一般会計予算構成図

一般会計予算総額 494億 1,000万円（前年度比4.1%減）



※ () 内は構成比
※ 金額・構成比は、表示単位未満を四捨五入

特別会計予算総額 445億 9,000万円（前年度比13.4%減）



- 健康福祉委員会

◎ 渡辺 眞

◎ 田原 茂

◎ 森田 幸

◎ 中谷 和

◎ 池田 彦

◎ 佐藤 二

◎ 鈴木 勝

◎ 鈴木 豊

◎ 手嶋 一郎

◎ 馬場 繁

◎ 江口 和

◎ 山口 正

◎ 秋山 薫

◎ 西野 子

◎ 奥野 人

◎ 馬場 賢
- 市民文教委員会

◎ 鈴木 勝

◎ 鈴木 豊

◎ 手嶋 一郎

◎ 馬場 繁

◎ 江口 和

◎ 山口 正

◎ 秋山 薫

◎ 西野 子

◎ 奥野 人

◎ 馬場 賢
- 企画総務委員会

◎ 鈴木 勝

◎ 鈴木 豊

◎ 手嶋 一郎

◎ 馬場 繁

◎ 江口 和

◎ 山口 正

◎ 秋山 薫

◎ 西野 子

◎ 奥野 人

◎ 馬場 賢
- 環境まちづくり委員会

◎ 鈴木 勝

◎ 鈴木 豊

◎ 手嶋 一郎

◎ 馬場 繁

◎ 江口 和

◎ 山口 正

◎ 秋山 薫

◎ 西野 子

◎ 奥野 人

◎ 馬場 賢
- 議会運営委員会

◎ 鈴木 勝

◎ 鈴木 豊

◎ 手嶋 一郎

◎ 馬場 繁

◎ 江口 和

◎ 山口 正

◎ 秋山 薫

◎ 西野 子

◎ 奥野 人

◎ 馬場 賢
- 各委員会の委員を選任

◎ 菅原 直志

◎ 清水 哲史

◎ 岸弘行

◎ 梅田 幸

◎ 中野 昭人

◎ 佐野 昭二

◎ 今井 昭徳

◎ 窪田 志

◎ 古賀 志

◎ 大高 直志

◎ 清水 哲史

◎ 岸弘行

◎ 梅田 幸

◎ 中野 昭人

◎ 佐野 昭二

◎ 今井 昭徳

◎ 窪田 志

◎ 古賀 志

平成20年度予算の審議から

一般会計予算 原案可決

平成20年度一般会計予算特別委員会は、3月17日、18日、21日の3日間、開催され、鈴木勝委員長、窪田知子副委員長のもと、慎重な審査が行われました。

委員会では、延べ53人の委員から質疑や行政への提言、指摘が活発に行われました。平成20年度日野市一般会計予算の原案は、歳入歳出のおおの494億1千万円であり、前年度に比較して20億9千万円、4・1%の減となっています。

主な質疑としては、まず、歳入全般では、法人

市民税・市たばこ税・市町村総合交付金の減、地方譲与税を含めて道路特定財源の影響額、競輪・競艇事業収入、財政健全化法に伴う将来負担比率などがありました。

次に、歳出全般では、多忙教師サポート事業、文化団体補助金、学校裏サイトへの対応、市立図書館と学校図書館の連携などについての質疑がありました。

委員会採決に入る前に、中野昭人委員ほか2名から子育てや教育環境の充実を図り、(仮称)市民の森ふれあいホールの新年度着工を中止するため、予算減額を主な内容とする、予算の編成替えを求める動議が提出されました。動議に対する質疑意見の後、採決を行い、賛成少数で否決され、原案が賛成多数で可決されました。

3月28日の本会議において、委員長報告、質疑が行われました。各会派の代表による予算案に対する意見表明の後、採決が行われ、平成20年度一般会計予算は、賛成多数で可決されました。

特別会計予算 原案可決

平成20年度特別会計予算特別委員会は、3月24日に開催され、馬場賢司委員長、江口和雄副委員長のもと、慎重な審査が行われました。

委員会では各特別会計ごとに審査が行われ、質疑や行政への意見、提言、指摘が行われました。概要は、次のとおりです。

★国民健康保険特別会計
予算総額 157億8千292万円
国保税滞納者への取り組み及び多重債務者に対する

してどのように対応しているのか、後期高齢者支援金の支払先はどこになるのか、激変緩和措置後の市の対応についてどう考えているのかなどの質疑があり、意見も出ましたが、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決まりました。

★土地区画整理事業特別会計
予算総額 42億4千689万円
新都市建設公社による代行買収はどのくらいの額になるのかなどの質疑があり、代行買収については、予算に計上すべきであるという反対意見がありましたが、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決まりました。

★下水道事業特別会計
予算総額 55億524万円
特段の質疑・意見はなく、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決まりました。

★受託水道事業特別会計
予算総額 6億1千490万円
供給停止の月ごとの件数などの質疑がありましたが、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決まりました。

★老人保健特別会計
予算総額 10億5千632万円
1人あたりの医療費は

どのくらいかなどの質疑がありました。特段の意見はなく、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決まりました。

★介護保険特別会計
予算総額 70億1千689万円
地域包括支援センターは役割を果たしているのかなどの質疑があり、社会的介護を日野市として充実してほしいという賛成意見の後、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決まりました。

★後期高齢者医療特別会計
予算総額 24億4千652万円
この制度全体のシステムの総額及び委託先はどこかなどの質疑があり、この制度そのものに根本的な疑問を持っているなどの反対意見もありましたが、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決まりました。

★市立病院事業会計
予算総額 79億1千98万円
病床利用率の目標数値についての見解を問う、患者数に対する医師の充足率はどのくらいかなどの質疑のほかは特段の意見はなく、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決まりました。